

進路だより

令和6年7月8日
東京都立矢口特別支援学校
校長 阿出川 千賀子
〈第2号〉 進路指導部

不安定な天気が続いていますが体調など崩されていないでしょうか。7月に入って少しずつ気温も上がり本格的に夏が近付いています。規則正しい生活で過ごすことや運動で健康な体をつくることも進路につながる大切な力を育みます。ぜひ意識して生活を送っていただければと思います。

本号では「校内あいさつ検定」についてお伝えします。挨拶は、相手を意識した挨拶から人間関係の広がりにつながります。御家庭内でも挨拶を大切にしていきましょう。

■「校内あいさつ検定」を推進する目的について

本校では、「校内あいさつ検定」を実施しています。挨拶をする力は、子供たちが将来主体的に社会生活を送っていくためのとても大切な力です。

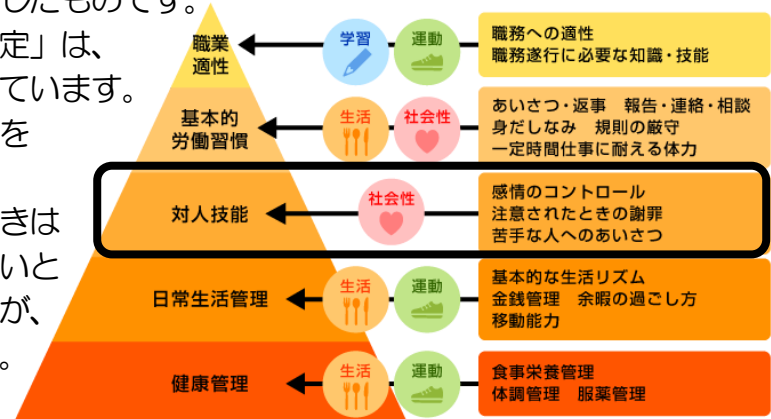
キャリア教育は、生活することに関する「ライフキャリア」と働くことに関する「ワークキャリア」と大まかに分けることができますが、その両方を含めた教育がキャリア教育です。

キャリア教育の中でも第一に挙げられるのが、主体的に社会と関わっていくためのコミュニケーション能力の育成です。挨拶はコミュニケーションの基本であり、本校の「生活に役立つ4つの力」でも「あいさつの力」を掲げています。挨拶は、相手を意識し、人と人がつながる第一歩として、とても重要です。

職業準備性ピラミッドという言葉を知っていますか。これは、安定した就労に向けてどのような準備が必要か段階的に示したものです。

本校で推進している「校内あいさつ検定」は、「対人技能」の力を伸ばすために行っています。

挨拶は、様々な場所で良好な人間関係を構築するために必要なスキルです。御家庭でも、お子さんが挨拶できたときは褒めていただき、習慣付けられるとよいと思います。日々積み重ねていったことが、後々評価されることにもつながります。



(出典元：<https://www.cossy.co.jp/program>)

□今年度の様子

5月からあいさつ検定がスタートしました。

『どこでも、誰とでも』挨拶ができるように、担任や担任以外の教員からチェックを受けて、校長先生のチェックを受ける検定本番に挑みます。




学齢期のキャリア教育について②

前号では、『ライフキャリア』がキャリア教育の根幹部分であり、学齢期のキャリア教育がとても重要であるということ、「基本的生活習慣」の6項目の確認をするときの3つの視点について触れさせていただきました。

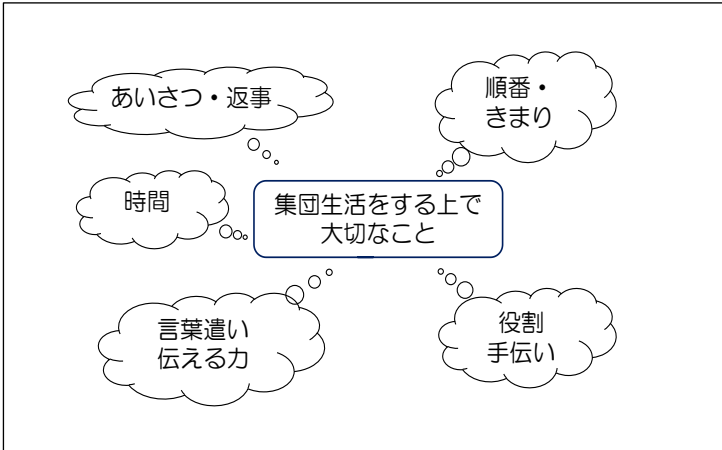
今号では、基本的生活習慣から『着替え』についてのチェックポイントの例としていくつか紹介します。また、『集団生活をする上で大切なこと』から本校の「生活に役立つ4つの力」にも挙げられている『役割の力』について書きたいと思います。

『着替え』について、右の図にチェックポイントの一例を挙げました。例えば、身だしなみを整える場合、裾をしまうときには、両手が別の動きをし、片方の手は親指と人差し指・中指の三指で下衣のウエスト部分をつかんでいます。この動作をしながら、
①自分で整えることができる ②支援があれば整えることができる（どんな支援

着替え（チェックポイント<例>） 

<p style="text-align: center;">【衣服の着脱の動作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕の動き ・足の動き ・手（指先）の動き ・協力動作 など 	<p style="text-align: center;">【衣服の前後表裏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前後表裏を見分ける時の目印は？ （柄、お気に入りの印、タグなど） ・表裏を直す
<p style="text-align: center;">【場に応じた服装】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服の色、型（襟の有無、袖の有無など）、触感（生地の種類など） ・ボタン、ファスナーなどの操作 ・ネクタイ、リボン、ベルトの着脱など 	<p style="text-align: center;">【身だしなみを整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袖口 ・襟元 ・すそ など
<p>【気温や天気に合わせた着脱】</p>	

かを確認することが重要）、というように確認していきます。チェック項目は、それぞれのお子さんに合わせて変わりますが、「自分でできることは何か」「支援があればできることは、どんな支援をする」と次のステップにつながるのか」という視点をもって確認することが大切です。ぜひ、毎日の着替えの際に、1つの動作からでもよいので確認してみてください。



次に、「集団生活をする上で大切なこと」を5項目あげました。今回は、本校の「生活に役立つ4つの力」から『役割の力』についてです。学校では「係活動」「様々な場面での自分の役割」「共同作業の中での役割」が主に上げられます。御家庭では『お手伝い＝御家庭での役割』と考えられるのではないのでしょうか。

役割を果たす、ということは「できた」という自信と達成感を生み、人の役に立ち、「ありがとう」の言葉をかけられることは、自己肯定感・自己有用感を育むことにもつながります。「御家庭でも『お手伝い』を」というお話をよくさせていただくのは、この「できた」という自信と達成感を様々な場所でより多く経験してほしいこと、家族の一員としての役割をもち、自己有用感を高めてほしいからなのです。ぜひ、「毎日、無理なくできる」お手伝いをお願いします。